



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 東プレ

コード番号 5975 URL <http://www.topre.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内ヶ崎 真一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長

(氏名) 露木 好則

TEL 03-3271-0711

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	69,034	8.3	6,410	△6.0	7,392	6.7	4,086	7.8
24年3月期第3四半期	63,725	—	6,818	—	6,926	—	3,788	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,806百万円 (34.5%) 24年3月期第3四半期 2,829百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	81.58	—
24年3月期第3四半期	75.63	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	107,106	71,872	62.5	1,335.56
24年3月期	102,098	68,940	62.8	1,279.72

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 66,896百万円 24年3月期 64,099百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	6.8	7,500	△16.6	8,000	△16.8	4,200	△18.7	83.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期通期連結業績予想につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照願います。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	54,021,824 株	24年3月期	54,021,824 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	3,933,279 株	24年3月期	3,932,612 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	50,088,741 株	24年3月期3Q	50,094,694 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ①概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、主要な取引先である自動車業界におきまして、国内の自動車生産・新車販売では、期前半は好調に推移し、震災前の一昨年の水準まで回復したものの、後半にかけては需要が落ち込み、これまでの回復基調に陰りをみせています。北米におきましては、米国経済が引き続き堅調に推移していることから、新車販売は前年同期を上回る水準で推移しました。

また、米国経済における懸念事項も回避され、国内でも昨年末より続く円安基調・株価の上昇がみられ、景気回復の兆しをみせています。しかしながら、先行き不透明な消費マインドや、不安定な国際情勢に加え、急激な円安・株高に対する反動等の懸念もあり、先行きは楽観視できません。

こうしたなか当社グループの業績は、売上高 690 億 3 千 4 百万円、前年同期比 53 億 9 百万円の増収 (8.3%増)、営業利益は 64 億 1 千万円、前年同期比 4 億 8 百万円の減益 (6.0%減)。また、円相場の変動による為替差益などにより、経常利益は 73 億 9 千 2 百万円、前年同期比 4 億 6 千 6 百万円の増益 (6.7%増)、四半期純利益は 40 億 8 千 6 百万円、前年同期比 2 億 9 千 8 百万円の増益 (7.8%増) となりました。

## ②事業セグメント別の状況

## &lt;プレス関連製品事業&gt;

自動車関連部門におきましては、国内自動車販売は、エコカー補助金による需要喚起により好調に推移したものの、補助金終了の反動による影響を受けています。北米におきましては、引き続き好調な米国新車販売に加え、新規車種の立ち上がりにより、前年同期を大幅に上回る水準で推移しました。また当第3四半期連結累計期間より、東普雷(佛山)汽車部件有限公司および TOPRE (THAILAND) CO., LTD. を加えた、プレス関連製品事業全体での売上高は 406 億 6 千 7 百万円、前年同期比 29 億 9 千 1 百万円の増収 (7.9%増)、セグメント利益(営業利益)は、償却費負担の増加や、新規車種立ち上りによる生産効率の低下により 52 億 4 千 8 百万円、前年同期比 5 億 8 千 6 百万円の減益 (10.0%減) となりました。

## &lt;定温物流関連事業&gt;

冷凍車部門におきましては、冷凍車需要は、7月の補助金終了以後も、昨年先送りされた車両更新分に加え、小型トラックを中心とした市場の活性化により好調に推移し、受注・生産は前年同期を上回りました。また、冷凍輸送部門におきましても堅調に推移したことから、定温物流関連事業全体での売上高は 229 億 3 千 2 百万円、前年同期比 23 億 1 百万円の増収 (11.2%増)、セグメント利益(営業利益)は、売上高の増加にともない 7 億 4 千 4 百万円、前年同期比 2 億 8 千 1 百万円の増益 (60.7%増) となりました。

## &lt;その他&gt;

空調機器部門におきましては、産業用送風機の受注が、設備投資の手控えなどにより減少しました。また住宅用換気システムにおいても、消費増税・住宅税制改正の行方を見極めようとする消費者動向により住宅着工戸数が伸び悩んだことから、受注が減少しました。

一方、電子機器部門におきまして、キーボード「REAL FORCE」の販売が堅調であったこと、タッチパネル関連製品の受注・生産も前年を上回る水準で推移したことから、その他の事業全体での売上高は 54 億 3 千 4 百万円、前年同期比 1 千 7 百万円の増収 (0.3%増)、セグメント利益(営業利益)は空調機器部門の売上高減少の影響により 4 億 1 千 8 百万円、前年同期比 1 億 1 百万円の減益 (19.5%減) となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債、純資産の状況

## (資産の部)

流動資産は、主に現金及び預金、有価証券の減少により、552 億 1 千 4 百万円となりました。

固定資産では、有形固定資産において、主に Topre America Corporation および東普雷(佛山)汽車部件有限公司の設備投資の進展、および定温物流センターの建設により、建設仮勘定、機械装置及び運搬具が増加し、518 億 9 千 2 百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ 50 億 8 百万円増加の 1,071 億 6 百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、主に海外子会社への設備投資により未払金が増加しましたが、未払法人税等が減少したことから263億5千5百万円となりました。

固定負債では、主に海外子会社への設備投資に係る長期借入金が増加したことから、88億7千7百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ20億7千5百万円増加の352億3千3百万円となりました。

(純資産の部)

為替相場の変動により、為替換算調整勘定のマイナス幅が拡大したものの、利益剰余金が増加したことから、前連結会計年度末に比べ29億3千2百万円増加の718億7千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期連結業績予想につきましては、最近の業績および為替動向をふまえ、第4四半期の見通しが未だ不透明であることから、平成24年10月31日公表の予想値を据え置きとさせていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ66百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	14,620	13,245
受取手形及び売掛金	20,410	20,275
有価証券	7,835	5,439
金銭債権信託受益権	5,400	4,600
たな卸資産	7,742	8,262
その他	3,579	3,391
貸倒引当金	1	0
流動資産合計	59,587	55,214
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
機械装置及び運搬具(純額)	8,169	10,868
その他(純額)	18,787	24,233
有形固定資産合計	26,956	35,102
無形固定資産	427	412
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	13,783	14,885
その他	1,366	1,512
貸倒引当金	22	20
投資その他の資産合計	15,126	16,377
固定資産合計	42,511	51,892
資産合計	102,098	107,106
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	18,058	18,024
短期借入金	-	109
1年内返済予定の長期借入金	723	1,015
未払法人税等	3,696	1,024
賞与引当金	1,226	538
役員賞与引当金	87	60
製品保証引当金	204	207
資産除去債務	53	-
その他	4,126	5,374
流動負債合計	28,176	26,355
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,850	5,534
長期未払金	859	830
P C B 処理引当金	38	38
繰延税金負債	2,067	2,292
その他	167	182
固定負債合計	4,982	8,877
負債合計	33,158	35,233

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,610	5,610
資本剰余金	4,840	4,840
利益剰余金	56,344	59,606
自己株式	2,464	2,465
株主資本合計	64,330	67,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,120	2,107
為替換算調整勘定	2,350	2,804
その他の包括利益累計額合計	230	696
少数株主持分	4,840	4,976
純資産合計	68,940	71,872
負債純資産合計	102,098	107,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	63,725	69,034
売上原価	50,673	55,928
売上総利益	13,052	13,106
販売費及び一般管理費	6,234	6,695
営業利益	6,818	6,410
営業外収益		
受取利息	85	69
受取配当金	175	181
固定資産賃貸料	75	73
為替差益	-	517
保険配当金	61	11
その他	104	176
営業外収益合計	502	1,031
営業外費用		
支払利息	18	28
固定資産賃貸費用	13	12
為替差損	294	-
その他	67	8
営業外費用合計	394	49
経常利益	6,926	7,392
特別利益		
固定資産売却益	18	30
投資有価証券売却益	-	5
その他	-	6
特別利益合計	18	43
特別損失		
固定資産除却損	24	89
減損損失	0	0
投資有価証券売却損	-	48
投資有価証券評価損	44	-
ゴルフ会員権評価損	49	17
その他	-	0
特別損失合計	119	155
税金等調整前四半期純利益	6,825	7,280
法人税、住民税及び事業税	2,886	2,335
法人税等調整額	19	683
法人税等合計	2,906	3,018
少数株主損益調整前四半期純利益	3,918	4,261
少数株主利益	130	175
四半期純利益	3,788	4,086



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,918	4,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	722	1
為替換算調整勘定	366	453
その他の包括利益合計	1,089	454
四半期包括利益	2,829	3,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,707	3,620
少数株主に係る四半期包括利益	122	186

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	37,676	20,631	58,307	5,417	63,725		63,725
セグメント間の内部売上高 又は振替高	162	14	176	367	543	543	
計	37,838	20,645	58,484	5,785	64,269	543	63,725
セグメント利益	5,834	463	6,298	519	6,818		6,818

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プレス関連 製品事業	定温物流関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	40,667	22,932	63,600	5,434	69,034		69,034
セグメント間の内部売上高 又は振替高	202	5	208	419	628	628	
計	40,870	22,938	63,808	5,853	69,662	628	69,034
セグメント利益	5,248	744	5,992	418	6,410		6,410

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は「プレス関連製品事業」で39百万円、「定温物流関連事業」で19百万円、「その他」で6百万円それぞれ利益が増加しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

該当事項はありません。